



発行所 四国新聞社
〒760-8572
高松市中野町15番1号
©四国新聞社 2021年

万葉の世界 現代に再現

高松の出版「令和万葉集」刊行



書家がしたためた和歌

高松市書町の出版社・万葉社が、新しい元号「令和」の出版元となった万葉集「梅花の歌三十二首」の序文と和歌をまとめた「令和万葉集」を発行した。全書に現代調紙と解題を付け、現代の書家が一首ずつ手書きした味わい深い書と共に紹介している。

万葉集巻五「梅花の歌三十二首」は、序文で九州太宰府の役人・大伴旅人の邸宅で開かれた宴の様子を記述、宴に招かれた旅人の和歌と、後に追加された百首の計33首が収められている。本書は同社の佐々木良社長が監修し、原文と現代調紙、解説文などを付

けて収録。解説文からは、読み手の心情や宴の席で互いの歌を引用しながら歌んでいたことが分かる。和歌は、歌うし書きと呼ばれる書法で書家がしたためたものを収録して、全書、1冊0度開くよう製本を工夫し、全ページに和紙を使用した。また、平仮名・カタカナに変化したとされ、日本調の音を表すために漢字を当てた「万葉仮名」についても書末で解説している。

ている。

四六判、192
ページ、1650円。

問い合わせは同社、電話087
000(2)1970。



「令和万葉集」の表紙

令和 3 年 5 月 24 日
四国新聞 9 面（文化・生活）で掲載していただきました。
ありがとうございます。